

## 重点的に取り組む主な経営課題

### 経営課題2

### 【「日本一の文教『都市』」をめざした人材育成の取組】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

天王寺区は全国学力学習状況調査では、区全体として大阪市平均を上回る傾向にある。  
だからこそ、学校教育以外の部分である、子どもが社会で生きて行く力を育むための「社会教育」の機会が提供されている状態。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

・天王寺区は全国学力学習状況調査では、区全体として大阪市平均を上回る傾向にある。  
・区内人口の約44%が40歳未満で子どもや子育て世代が多い。（平成27年国勢調査）

（参考）

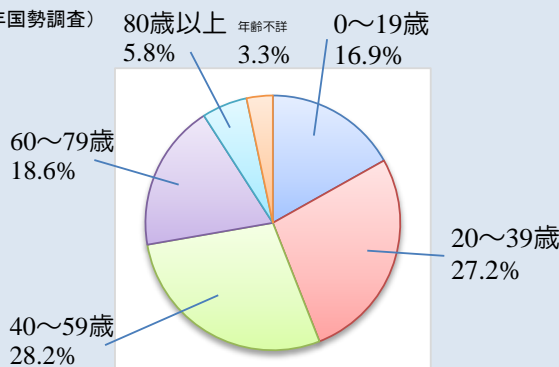
・0～19歳人口割合は 24区中5番目：平成27年10月1日現在（平成27年国勢調査）

【平成28年度 学校基本調査】

中学校数 9校（24区中4番目）  
中学校生徒数 5,266名（24区中2番目）  
高等学校数 12校（24区中1番目）  
高等学校生徒数 15,862名（24区中1番目）  
高等学校生徒数は、市全体の約20%を占める。

【待機児童数】

・平成29年4月1日時点  
天王寺区 26人  
市全体 325人（24区中3番目に多い）  
・平成28年4月1日時点  
天王寺区 27人  
市全体 273人（24区中3番目に多い）



区内人口構成  
（平成27年国勢調査による）

【平成29年度第1回区民モニターアンケート】

防災やまちのにぎわいなど7つの事業分野のうち  
子育て支援を優先する事業として捉える人が多い。  
（1位）子育て支援 594ポイント （2位）防犯 545ポイント  
（3位）地域福祉・健康 447ポイント  
回答者数 426人  
優先する事業分野を1位から3位まで  
選択、それぞれ3ポイントから1ポイントを付与し算定

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

・教育に対する意識の高い保護者、地域と連携して、これまで努力してきた結果、私立の高等学校など多くの学校園が集積していると考えられる。  
・区において子育て施策・人材育成施策への期待度が高い。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

・子どもへの教育投資のさらなる促進。  
・社会教育の充実や子育て世帯の負担緩和など、地域特性を活かした未来を担う人材の育成の強化。  
・子どもの体験活動への参加機会が減少傾向にあることから、子どもや青少年が、様々な体験、世代を越えた交流の機会や地域でのつながりづくりなどを通じて、心身ともに健やかに成長できるような環境整備。  
・グローバル社会で生きていく力を養う学習機会の提供。  
・地域福祉の課題を検討し、その課題を克服するための具体的な取組を「天王寺区地域福祉アクションプラン」に基づき推進。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

・喫緊の課題となっている待機児童対策については、区内市有財産を活用するなど施設整備を図った。現時点では、個々に対応が困難なケースも出てきており、平成31年4月時点の待機児童は1名となった。多種多様な保育ニーズに対応するため、引き続き、全市的な取組と連携しながら、きめ細やかな取組を進める。  
・子育て情報アプリの利用者及び子育て情報博覧会参加者の満足度も高く、子育てに必要な情報を必要な時に的確に得ることができていると感じる子育て世帯の割合も8割を超えた。今後も効果的かつ効率的な情報提供をめざす。  
・「日本一の文教『都市』」をめざし、区で取り組む未来を担う人材育成に関する事業は順調に執行できているが、参加希望者を対象としたものであり、区内児童・生徒全体の人材育成を効果的に進めるには、学校教育との連携をより一層すすめる必要がある。  
・そのため、学校長・保護者等から教育に関する課題・ニーズを聴取し、区で実施する人材育成に関する事業や、校長経営戦略支援予算（区担当教育次長執行枠）を活用した事業を、優先的に対処すべき課題・ニーズに有効に活用していくことが必要である。

めざす成果及び戦略 2-1 【地域の未来を担う人材の育成】

めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人とのコミュニケーション力を高めるとともに、外国の文化等についても理解・尊重できる学習機会が提供されている状態</li> <li>自分の将来に役立つと感じる、子どもが社会で生きて行く力を育む質の高い教育機会が提供されている状態</li> <li>居場所での学習や悩み相談等の支援が必要な子どもにサポートが届いている状態</li> <li>未来を担う人材育成に、乳幼児期から取り組んでいる状態</li> <li>子育てに必要な情報を必要な時に的確に発信できている状態</li> <li>保育所待機児童が解消された状態の継続</li> </ul>	戦略<中期的な取組の方向性>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学生を対象に、グローバル社会に対応した学習機会を提供し、英語によるコミュニケーション力の向上のみならず、外国の文化・行動様式等、国際理解を深める。</li> <li>年齢層に応じた社会教育機会の提供とあわせて、社会との関連を継続的に学ぶうえで重要である社会貢献ボランティア活動への参画支援。</li> <li>乳幼児期から子どもの体験・教育等の機会を提供することにより、子どもの将来への投資の促進を図る。</li> <li>きめ細やかな情報提供や、子育て支援施設・サービスの利用促進を行うことにより、子育て世帯の子育てに関する様々な悩みや不安の解消を図る。</li> <li>認可保育所の拡充、小規模保育事業の実施など、あらゆる手法により、増大する需要を上回る保育サービスの量的拡充を行い、就労を希望する人が仕事と出産・子育てを共に選択できるよう取り組む。</li> <li>天王寺区地域福祉アクションプラン子育て班の取組を推進する(子育て愛あいフェスティバル、天王寺区ジュニアクラブへの協力など)。</li> </ul>
アウトカム<めざす状態を数値化した指標>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル人材育成事業参加者の満足度 90% 平成30年度</li> <li>自分の将来に役立つと感じるイノベーション人材育成事業参加者の割合 70% 平成30年度</li> <li>居場所での学習・生活相談のサポートを受けて、改善したと感じる子どもの割合 70% 平成32年度</li> <li>乳幼児期から未来を担う人材育成が積極的に進められているまちであると感じる区民の割合 80% 平成30年度</li> <li>子育てに必要な情報を必要な時に的確に得ることができていると感じる子育て世帯の割合 80% 平成30年度【重点目標】</li> <li>保育所待機児童が解消された状態の継続</li> </ul>		

戦略のアウトカムに対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	—
アウトカムの達成状況		前年度 個別 全体	今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	—
グローバル人材育成事業参加者の満足度 92%		86%	A	A
自分の将来に役立つと感じるイノベーション人材育成事業参加者の割合 80%		88%	A	A
居場所での学習・生活相談のサポートを受けて、改善したと感じる子どもの割合 92%		—	A	A
乳幼児期から未来を担う人材育成が積極的に進められているまちであるとを感じる区民の割合 62.7%		64.5%	B	A
子育てに必要な情報を必要な時に的確に得ることができていると感じる子育て世帯の割合 83.0%		78%	A	A
保育所待機児童数 1名		0名	B	A
				A:順調 B:順調でない
戦略の進捗状況	b	a:順調 b:順調でない		

具体的取組 2-1-1 【グローバル人材の育成(グローバル人材育成事業)】

		28決算額	2,945千円	29予算額	3,000千円	30予算額	2,340千円
計画	取組内容	小・中学生を対象に、海外の文化・行動様式に対する理解を深めるとともに、文化や価値観も異なる外国人に対し、英語をお互いの共通語として積極的にコミュニケーションを行う体験をつづいて、英語を国際共通語として海外に挑戦し活躍できる人材の育成を図る。 グローバル人材育成事業(多文化・国際理解教室 4回)					
	業績目標(中間アウトカム)	・グローバル人材育成事業参加者の満足度 90%以上 【撤退基準】 50%未満の場合には事業を再構築する。 前年度までの実績 平成29年度 英対話講座 4回 英語体験活動 4回 ※達成状況 英対話講座 78% 英語体験活動 93% 平成28年度 ディベートスクール 8回 英語体験活動 2回 成果発表会 1回 ※達成状況 ディベートスクール 100% 英語体験学習 93% 平成27年度 ディベートスクール 12回 国際交流カフェ 6回 成果発表会 1回 ※達成状況 ディベートスクール 94%					
中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成				
	戦略に対する取組の有効性	—	○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)				
自己評価	取組実績	多文化・国際理解教室 4回 業績目標の達成状況 グローバル人材育成事業参加者の満足度 92%					
	戦略に対する取組の有効性	○	○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)				

具体的取組 2-1-2 【イノベーション人材の育成(中学生キャリア教育)】

28決算額 1,522千円 29予算額 624千円 30予算額 273千円

計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム)
	<p>区内中学校と連携し、育んだ知力・学力が社会で生かされるものとなるよう、仕事において必要とされる力について、学び・体験する様々な機会を生徒に提供し、未来の大阪・日本においてイノベーション(新たな仕事をつくり出す、今ある仕事を変革させる等)を起こせる人材の育成をめざす。</p> <p>企業家ミュージアム等での学習支援 ・イノベーションを起こせる人材を育成するため、公立中学生を対象に大阪で活躍した企業家の実績を通じて”起業家”の生き方を知り、社会で必要となる力について学ぶ。 参加者 公立中学2年生(予定) 計3回(各校1回)</p> <p>職業講話 ・社会の第一線で活躍する企業家の話を聞き、自ら関心のある分野の理解を深めるとともに、仕事を創り出す大切さ、社会で必要となる力について学ぶ。 中学校への講師派遣 3回</p> <p>職業体験 ・学校では学ぶことのできない社会で必要となるスキルを養うため、企業・事業所等の現場にて職業体験を積み、社会で生きていく力を養う。 中学校への職業体験受入先紹介等</p>	<p>自分の将来に役立つと感じる参加者の割合 70%以上 【撤退基準】 各50%未満の場合には事業を再構築する。</p> <p>前年度までの実績 平成29年度 中学生キャリア教育 2回実施 ※達成状況 76% 職業講話 参加者 29名 ※達成状況 82% インターンシップ 参加者 20名 ※達成状況 90% 平成28年度 インターンシップ 参加者 14名 ※達成状況 100% 平成27年度 インターンシップ 参加者 14名 ※達成状況 100% 平成26年度 インターンシップ 参加者 10名 ※達成状況 90%</p>

中高振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性</p>	<p>○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)</p>	—

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>企業家ミュージアム等での学習支援 2回 職業講話 3回 職業体験 テンサボ登録企業など受入先を紹介</p> <p>業績目標の達成状況 自分の将来に役立つと感じる企業家ミュージアム等での学習支援参加者の割合 80% ① (ii) 自分の将来に役立つと感じる職業講話参加者の割合 79% ①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性</p>	<p>企業家ミュージアム等での学習支援について実施回数が計画を下回ったものの、参加者の多くが自分の将来に役立つと感じていることから取組は有効であるため、各中学校と連携して取組を進める必要がある。</p> <p>改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 区内中学校との連絡調整を密にし、各校でのキャリア教育と連携した取組を進め、中学生の学び・体験できる機会を増やす。</p>

具体的取組 2-1-3 【次世代の地域担い手の育成】

28決算額 299千円 29予算額 325千円 30予算額 302千円

計画	取組内容	業績目標(中間アウトカム)
	<p>《天王寺区ジュニアクラブ活動》 学校・家庭・地域との協働により、小学校4年生から中学・高校生を対象に、地域行事へのボランティア参加や施設体験などを行う天王寺区ジュニアクラブの活動を支援する。 活動 年5回</p>	<p>活動の趣旨(ボランティア等)が理解できた会員 70%以上 【撤退基準】 50%未満の場合には事業を再構築する。</p> <p>前年度までの実績 平成29年度(今後も活動(ボランティア等)に参加したいという会員) 活動回数 年5回(うちボランティア2回) ※達成状況 100% 平成28年度 活動回数 年5回(うちボランティア1回) ※達成状況 96% 平成27年度 活動回数 年5回(うちボランティア2回) ※達成状況 96%</p>

中高振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性</p>	<p>○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)</p>	—

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	<p>ジュニアクラブ活動回数 5回</p> <p>業績目標の達成状況 活動の趣旨(ボランティア等)が理解できた会員 89% ① (i) ①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成</p> <p>戦略に対する取組の有効性</p>	<p>改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須</p>

具体的取組 2-1-4 【こどもの居場所等における学び・生活サポート(こどもの貧困対策)】

		28決算額	— 円	29予算額	— 円	30予算額	1,010千 円
計画	取組内容	民間(居場所設置者)の協力を得ながら、「居場所」での活動を、市でも課題とする学力向上・精神面の支援につなげるため、区において居場所での学習支援・生活相談に応じるサポーターの活動を支援する。 学び・生活サポーターが活動する居場所の確保 2か所					
	業績目標(中間アウトカム)	居場所で学習・生活相談のサポートを受けて、改善したと感じる子どもの割合 50%以上 【撤退基準】 30%未満の場合には事業を再構築する。					
中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	—					
	戦略に対する取組の有効性	—		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績	学び・生活サポーターが活動する居場所の確保 3か所					
	業績目標の達成状況	居場所で学習・生活相談のサポートを受けて、改善したと感じる子どもの割合 92%		① (i)			
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
戦略に対する取組の有効性	○		○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)				

具体的取組 2-1-5 【子どもの将来のための投資の促進】

		28決算額	9,529千 円	29予算額	13,171千 円	30予算額	9,116千 円
計画	取組内容	天王寺区に生まれた子どもを持つ家庭を対象に、乳幼児期から子どもの体験・教育等の機会を提供する仕組みとして子育てスタート応援券(クーポン券:10,000円分)を交付する。 (平成30年度新規対象者数 804名)					
	業績目標(中間アウトカム)	子育てスタート応援券の利用率(人数ベース) 2歳到達者 75%以上 【撤退基準】 50%未満の場合には事業を再構築する。					
中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成	—					
	戦略に対する取組の有効性	—		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績	子育てスタート応援券の交付 3,453名					
	業績目標の達成状況	子育てスタート応援券の利用率(人数ベース) 73.6%		② (i)			
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
戦略に対する取組の有効性	○		○:有効 ×:有効でないため見直す —:中間アウトカム未設定(未測定)				



具体的取組 2-1-6 【子育て世帯の支援体制の充実】★

28決算額 1,570千円 29予算額 1,310千円 30予算額 1,396千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	<p>・虐待担当者・保育士・家庭児童相談員・保育コンシェルジュのチームが、保健師や栄養士と連携し、こどもの心身の発達・性格行動・しつけ等のさまざまな相談への対応、専門機関や保育所・幼稚園を含む地域の子育て資源に関する情報提供を随時行う。</p> <p>・保育コンシェルジュを増員し、区民にインフォーマルを含めた様々な子育て資源情報の提供、出張相談を行うとともに、地域他機関との連携の強化や情報交換を行う。</p> <p>・スマートフォン等の情報端末に対応した天王寺区子育て情報アプリ「ぎゅっと！」により、子育てに必要な情報(区内の保育園や幼稚園、医療機関、イベント情報等)を養育者に随時配信する。</p> <p>・子育て支援施設やサービスの利用促進を図るため、子育て支援機関が子育て世帯に直接取組内容を説明する場を提供する「子育て情報博覧会」を年1回開催する。</p> <p>・市民サービスの向上を図るため、保健福祉課専属のフロアマネージャーを置き、来庁目的を聞き取ったうえ円滑に窓口案内する。</p>		<p>・子育て情報アプリ 利用者満足度 80%以上</p> <p>・子育て情報博覧会 350世帯参加、参加者の満足度 90%以上</p> <p>【撤退基準】</p> <p>・子育て情報アプリ 利用者満足度が50%未満の場合、事業を再構築する。</p> <p>・子育て情報博覧会 参加者満足度が60%未満の場合には事業を再構築する。</p>	
			前年度までの実績	
			<p>平成29年度</p> <p>・子育て情報アプリ ※達成状況 94.8%</p> <p>・子育て情報博覧会 平成29年8月実施 287世帯参加 ※達成状況 91%</p> <p>平成28年度</p> <p>・子育て情報アプリ 機能強化(ホーム画面設置) ※達成状況 94%</p> <p>・子育て情報博覧会 平成28年8月実施 190世帯参加 ※達成状況 94%</p> <p>平成27年度</p> <p>・子育て情報アプリ 機能強化(ツイッター連携、検索機能改善)</p> <p>・子育て情報博覧会 平成27年9月実施 165世帯参加 ※達成状況 88%</p> <p>平成26年度</p> <p>・子育て情報アプリ 平成27年2月配信開始</p> <p>・子育て情報博覧会 平成27年2月実施 141世帯参加 ※達成状況 65%</p>	
中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	戦略に対する取組の有効性	—	—	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	<p>児童相談件数 519件</p> <p>保育コンシェルジュを増員 1名</p> <p>子育て情報アプリ「ぎゅっと！」の通年配信</p> <p>子育て情報博覧会の開催 1回</p> <p>保健福祉課専属のフロアマネージャーを配置 1名</p>		—	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	<p>子育て情報アプリ 利用者満足度 97.3%</p> <p>子育て情報博覧会 272世帯参加、参加者の満足度 91%</p> <p>①: 目標達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>②: 目標未達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった</p> <p>③: 撤退基準未達成</p>		—	
戦略に対する取組の有効性		○	—	

具体的取組 2-1-7 【保育サービスの充実】

		28決算額	— 円	29予算額	— 円	30予算額	— 円
計画	取組内容	全市を挙げた待機児童対策の取組みの中、区の課題解決に向け、子ども青少年局と連携しながら、主体的に保育所、小規模保育事業所誘致に向けた取組を進める。					
		業績目標（中間アウトカム） 保育所待機児童の解消 【撤退基準】 保育所待機児童が解消されなければ、事業を再構築する。 前年度までの実績 平成29年度 平成29年4月1日時点待機児童数 26人 ・保育所本園開設 1園(29.4.1) ・小規模保育事業所の開設 2カ所(29.4.1 29.12.1) 平成28年度 平成28年4月1日時点待機児童数 27人 ・保育所本園開設 1園(28.4.1) 平成27年度 平成27年4月1日時点待機児童数 11人 ・保育所本園開設 1園(28.2.1) 平成26年度 平成26年4月1日時点待機児童数 21人 ・保育所本園開設 1園(26.4.1) ・小規模保育施設の開設 1カ所(26.11.17)					
中間振り返り	業績目標の達成状況	① (i)		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	戦略に対する取組の有効性	—		—			
自己評価	取組実績	区の課題解決に向け、子ども青少年局と連携しながら、主体的に保育所、小規模保育事業所を誘致した。 ※参考 ・保育所本園開設 4園 ・小規模保育事業所の開設 1カ所		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 新たに施設を整備し、入所児童数も増加したものの、現時点では、個々に対応が困難なケースも出てきている。個々のケースに応じたきめ細やかな対応が必要。			
	業績目標の達成状況	平成31年4月1日時点での待機児童数 1人		③ 改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須 多種多様な保育ニーズに対応できるよう、子ども青少年局と連携し、取り組む。			
	戦略に対する取組の有効性	×		—: 中間アウトカム未設定(未測定)			